



教育づくりはまちづくり

田島 蒼惟
松本 陽人
Yeon Jeayun



チーム 家甲親市賀甲

二 親交 × 新甲賀 × 親日家



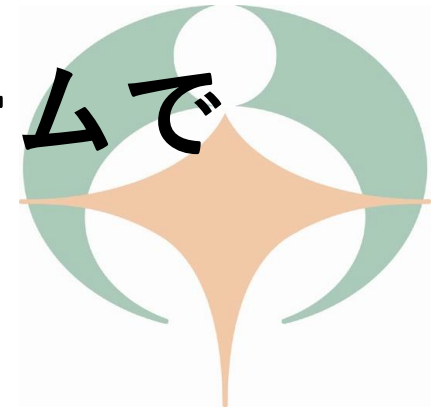
未来の甲賀市像



2040年理想の 甲賀市像



- 教育の魅力化を通して、
甲賀市の未来を担う人材を育てるまち
- 親甲家と新甲家とのバディシステムで
つながる賑わいのあるまち



甲賀市の現状



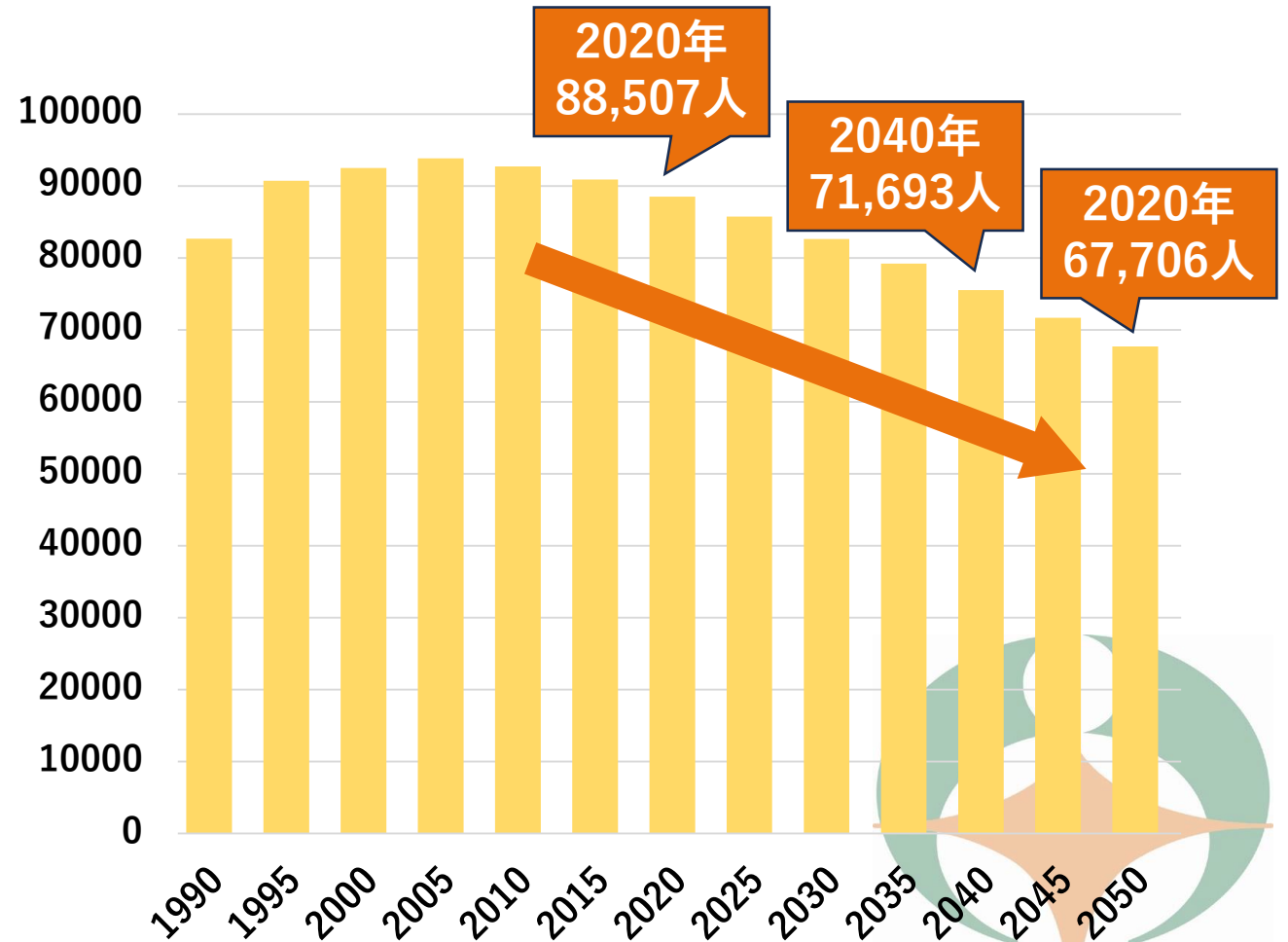
甲賀市の人口 と将来推計

人口：年々**減少**

緩やかに減少を続ける

経済の縮小

甲賀市の人口推移と将来推計



出典：「第二次甲賀市総合計画」（甲賀市）を加工して作成

甲賀市の人口 と担い手不足

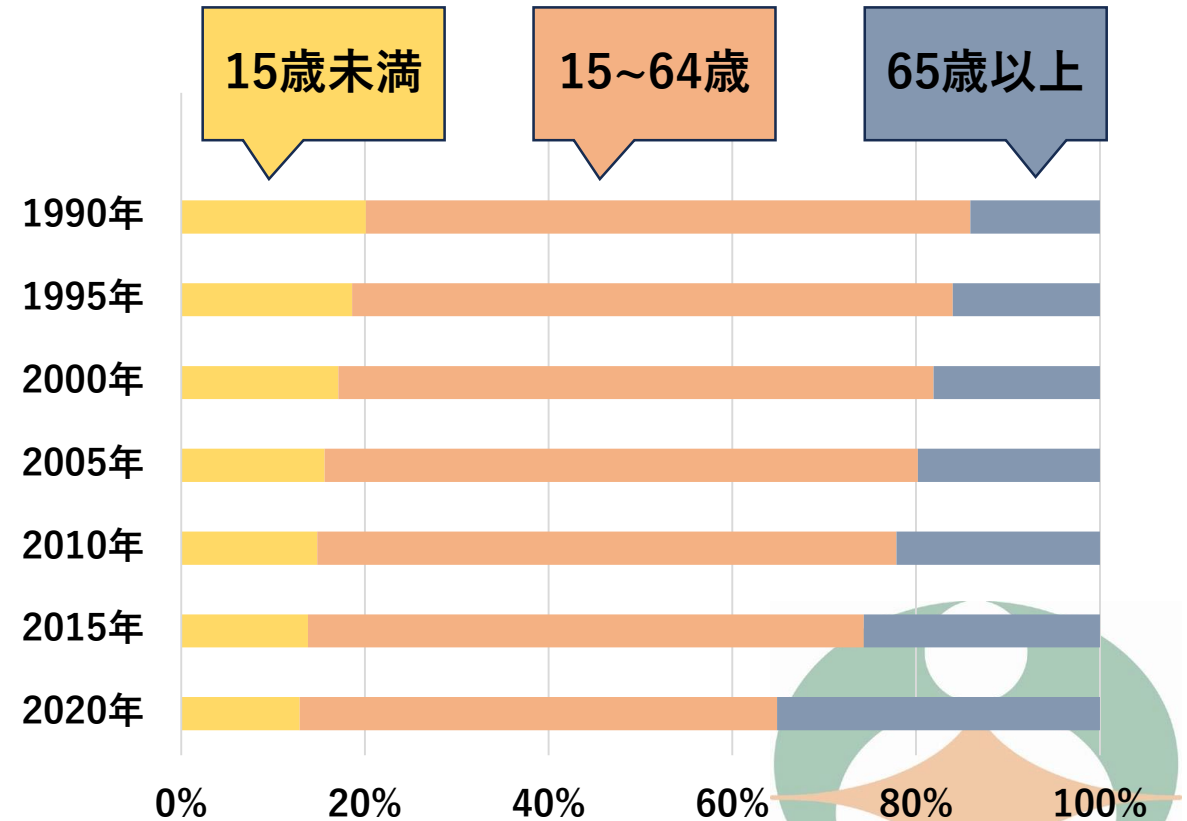
少子高齢化の進行

生産年齢人口の減少

文化・産業の

担い手不足

年齢 3 区分別人口割合の推移



出典：「令和2年度 市民意識調査の結果（速報）」（甲賀市）
「令和2年度甲賀市統計」（甲賀市HP）を加工して作成

提案政策

01 甲賀市教育の魅力化
高校3年間で甲賀市だからできる経験を！

02 移住者受け入れ整備
もどりたいと思えるまちづくり！



政策①：地域みらい留学の促進



地域みらい留学とは

都道府県の枠を越えて、地域の学校に入学し、
充実した高校生活をおくること





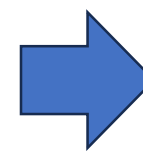
Koka City



Koka City

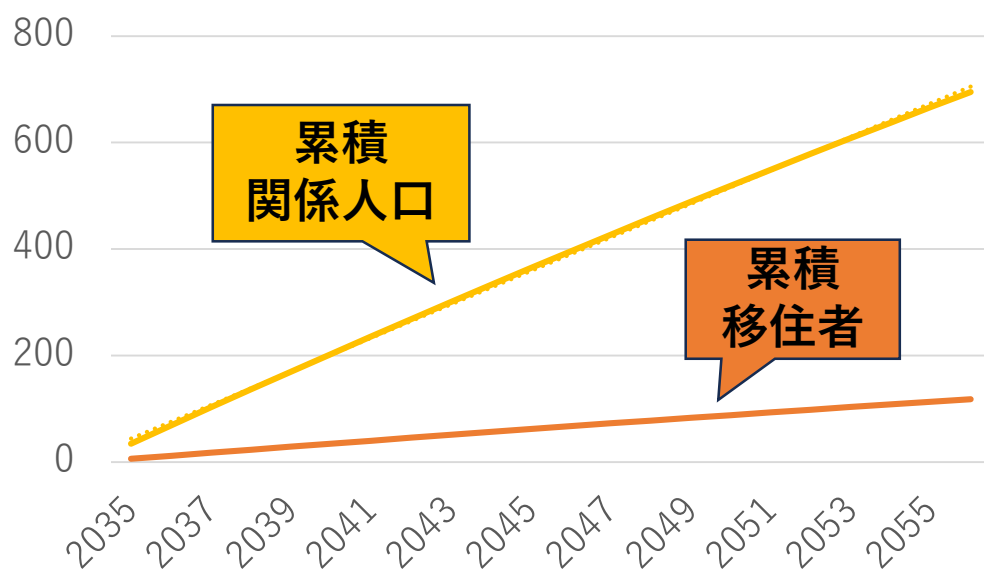
地方留学 の可能性 2

2025年
累積留学生数
95人



移住者：**6**人
関係人口：**35**人

累積関係人口・累積移住者予測



将来的な効果は大きい！

移住者や関係人口の増加
は甲賀市のためになる！

2050年
累積留学生数
2424人



移住者：**150**人
関係人口：**916**人

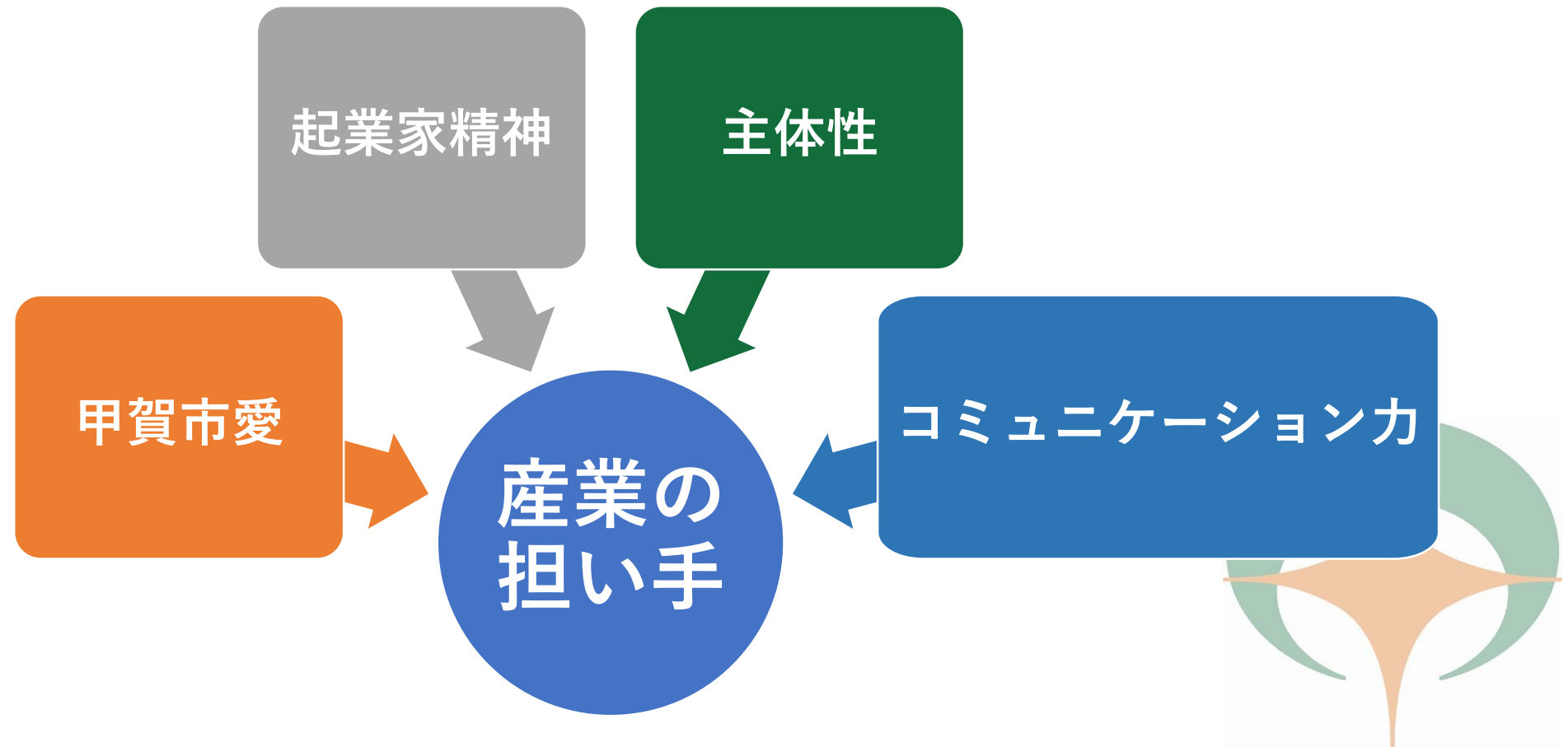


出典：「甲賀市統計」（甲賀市HP）を加工して作成

①デザイン教育

参考：池田ら(2017)『「郷土愛」を育むデザイン教育の試み』

商品化企画や事業の実現化企画を通して…



② コミュニティ教育

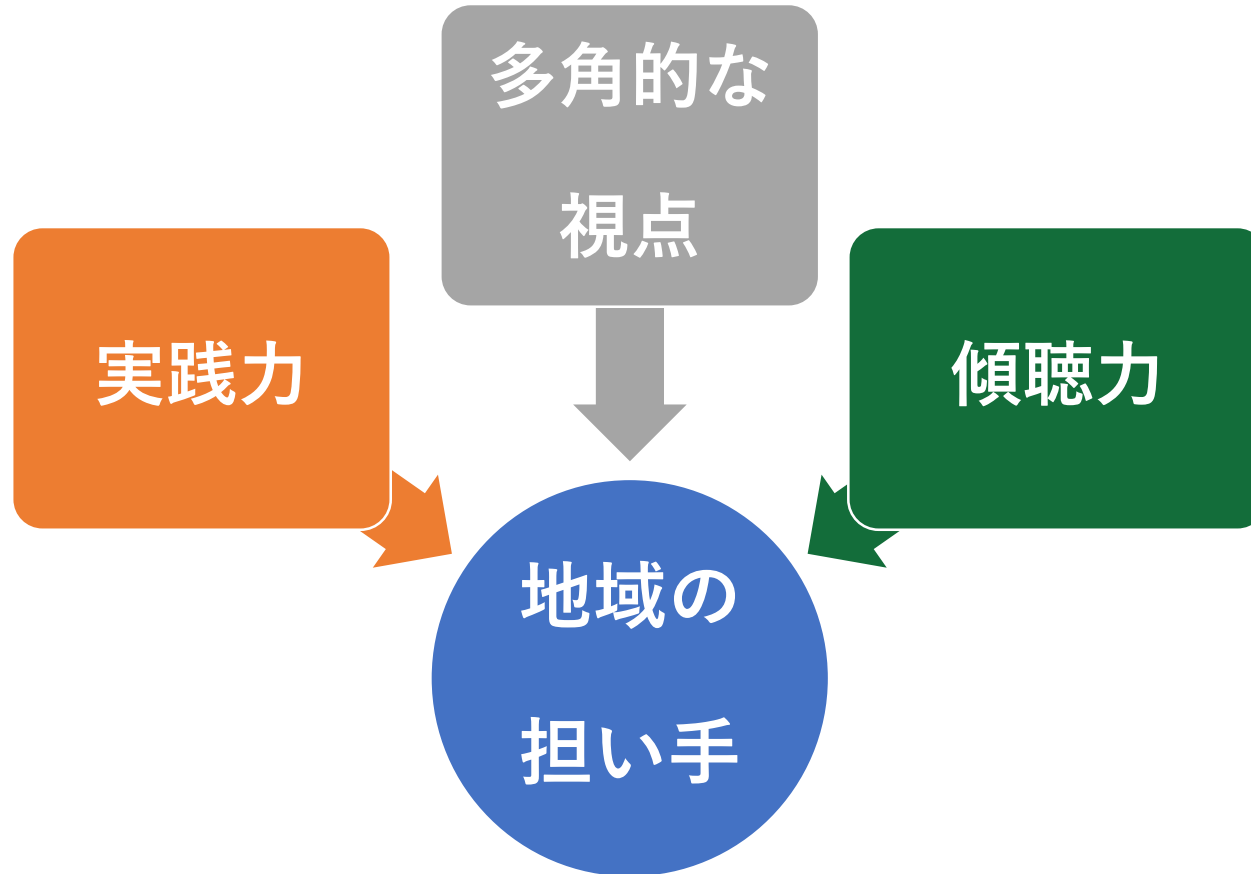
参考：佐藤(2014)『コミュニティ・スクールを活用する福祉教育実践について』

小地域福祉活動や地域住民との交流を通して…



③ KOKA学教育

参考：竹内(2022) 未来講座HIMI学



+ KOKA学検定 KOKA自然博士号



④KSGH認定制度

参考：SGLH（熊本県内7校）

= 甲賀市版スーパーグローバルハイスクール

KSGH
SUPER GLOCAL HIGH SCHOOL



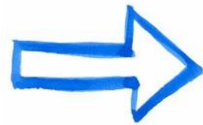
懸念点

市内ほとんどが県立高校で**市の管轄にない**

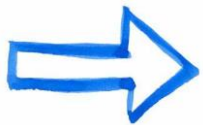
島根県隠岐郡海士町 県立隠岐島前高校



海士町



島根県



助成金



参考：高橋(2022)公立高校が立地する市町村による『高校魅力化への取組に関する研究』

予算案

受入人数を各高校6人想定(令和3年度 甲賀市統計より著者推計)

支出項目	単価 (万円)	*個数 (万円)	初年度合計 (万円)
受入学生の 住居費補助	48(/年)	30(人)	1440
商品化企画	25	5(高校)	125
その他雑費	50	5(高校)	250
総合計			1815万円

* 個数

30人：全高校合計受入人数

5校：普通高校4校 + 養護学校1校

政策②：移住者の受け入れ整備



受け入れ整備で甲賀市に必要な戦略は…
移住者に対しての幅広い情報・体験提供



定住希望者が甲賀市をより詳しく体験する

➡ **ボディシステム**

で現地の人との共生を体験



バディシステムとは？



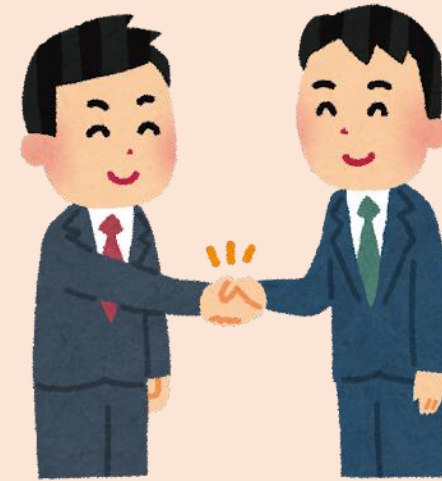
バディって
なんだろう？

愛知県高浜市で
生まれたプログラム

バディとは簡単に言うと**仲間**！

甲賀市 バディシステム

親甲家
甲賀市民



新甲家
移住希望者

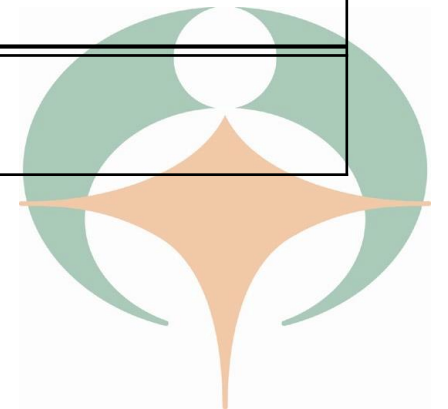
場とつながりを提供

- ① 本当に必要な支援の提供
- ② コミュニケーションを取りながら **知る**

予算案

支出項目		合計（万円）
人件費	親甲家	0
	運営事務局員人件費	200（/年）
運営費		100
広告費		100
備品購入施設利用等		50
総合計		450（/年）

期間：2024年度～ 親甲家募集開始



まとめ

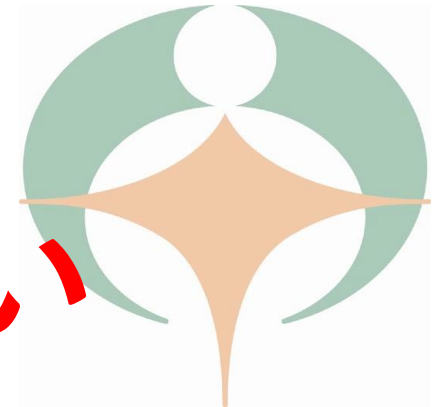


地域みらい留学

移住者受け入れ整備

関係人口増加

地域の持続的な賑わい



ご清聴ありがとうございました！

